

年 組 名前:

北杜の美術館 ワークブック発刊

平和考えるきっかけに

15日、15歳以下に先着配布

北杜市小淵沢町の中村キース・ヘリング美術館は、戦争や平和、自由について考えるワークブックを発刊した。文字や絵を描き込みながら、キース・ヘリング（1958～90年）が絵に込めた平和への思いについて考えてもらう。15日の終戦記念日には、来館した15歳以下に無料配布するほか、学芸員と展示を巡るギャラリートークを行う。

〈木場菜摘〉

ワークブックは、1980年代の米国を代表する画家であるヘリングの作品から、平和や自由について考える展覧会の開催に合わせて制作。戦後80年を前に、若い世代に平和について考えるきっかけにしようとおうと企画した。ワークブックはA4変形判で56ページ、3千部作られた。絵を通して反戦・反核のメッセージを伝えたヘリングと同じように、絵や文字を描きながら未来について考えてもらうとうと、画用紙と同じ素材で作った。

ワークブックには余白があり「今起きている戦争、あなたなら、どうする？」などの

世界は「どう？」などの問いかけに絵や文章で答えることができる。ヘリングが亡くなる2年前に広島を訪問した際の足跡なども紹介して、広島に制作予定だった壁画を想像して描くページもある。ワークブックは広島と長崎に原爆が投下された6、9日にも無料配布した。15日は15歳以下を対象に先着100部配る。午前11時から午後2時からのギャラリートーク（先着15人）参加者にも配布する。同美術館で1部1980円で購入することもできる。

展覧会は来年5月18日まで。問い合わせは同美術館、メール museum@keith.jp



(2024年8月13日付 山梨日日新聞 14面)

問1

北杜市小淵沢町の中村キース・ヘリング美術館が、ワークブックを発刊した理由を教えてください。

.....

問2

ワークブックには、「今起きている戦争、あなたなら、どうする？」などの問いかけがあります。あなたの考えを自由に書いてください。

.....

.....

.....